

# 桜島の精密地質模型を用いた地質図の空間認識とバーチャルジオツアー

芝原暁彦<sup>1)</sup>・吉田清香<sup>1)</sup>・大谷 竜<sup>1)</sup>・宮内 渉<sup>1)</sup>・澤井祐紀<sup>2)</sup>・川辺禎久<sup>1)</sup>

本誌p. 16-17にて報告した教材「桜島みたま砂絵で地質図」とともに展示した桜島の精密地質模型。桜島の地質を立体的に表現した砂絵教材と模型とを見比べることで、地形と地質との関わりを立体的に認知することができる。



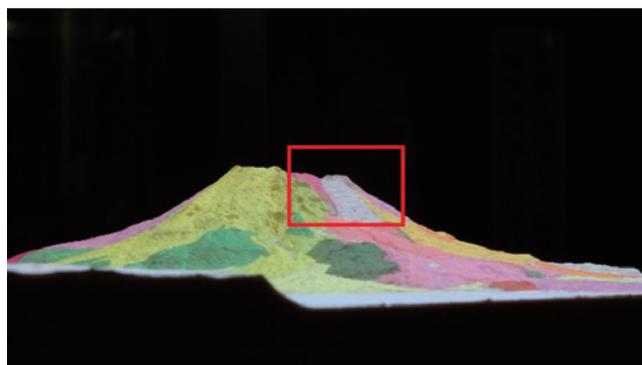
第1図 プロジェクションマッピングに用いた地形模型（投影前）.  
(X)29.50 cm × (Y)24.02 cm × (Z)2.91 cm. Z方向強調倍率  
1.30倍. 縮尺 1/50,000 で作成.



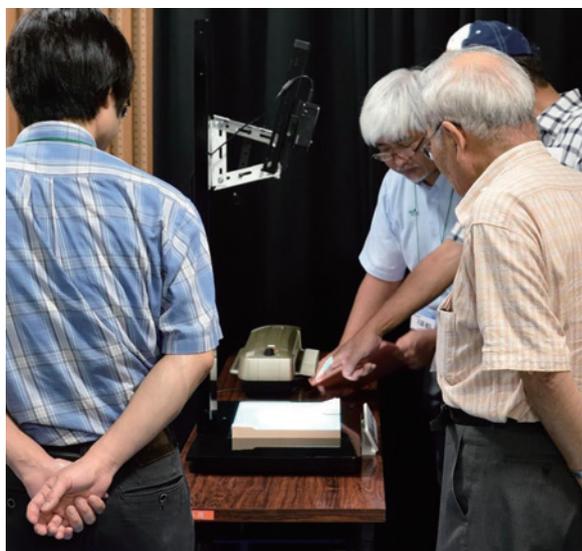
第2図 国土地理院5万分の1地形図を投影した様子.



第3図 桜島火山地質図第2版（小林ほか，2013）を投影した様子.



第4図 模型を西北西から東南東方向に俯瞰した様子. 写真中央の  
枠内部分が、今回の砂絵の対象とした地域.



第5図 作成した砂絵と、第1図～第4図の精密地質模型（写真中央下の白い部分）を用いたバーチャルジオツアーの様子. 模型は樹脂製である程度の強度を持つため、ユーザーが直接模型に触れて観察することが可能.

1) 産総研 地質標本館  
2) 産総研 活断層・火山研究部門

SHIBAHARA Akihiko, YOSHIDA Sayaka, OHTANI Ryu, MIYAUCHI Wataru, SAWAI Yuki and KAWANABE Yoshihisa (2015) Spatial Perception and virtual geotour around Sakurajima Volcano using finely-detailed 3D geological miniature.